

## 呼吸器内科 後期臨床研修プログラム

### 1. 一般目標

内科医としての幅広い一般知識、素養を培い、さらに呼吸器内科医としての専門性を会得する。

### 2. 行動目標

- 1) 病棟入院症例の受持医として患者およびその家族と良好な信頼関係を構築できる。
- 2) チーム医療における役割を理解し全人的にサポートする方法を習得できる。
- 3) 患者及びその疾患のもつ問題点に的確に対応できる。
- 4) 医療事故防止等の安全管理を身につけることができる。
- 5) 患者その家族に適切な医療面接ができる。
- 6) 症例提示を的確に行なうことができる。
- 7) 診療計画を的確にまとめ展開していくことができる。
- 8) 医療の社会性を認識し保険制度を理解し適切に患者に医療を提供できる。

### 3. 研修期間

3年間

### 4. 取得可能な資格

日本内科学会認定内科医 日本内科学会認内科定専門医 日本呼吸器学会専門医  
日本呼吸器内視鏡専門医

### 5. 研修内容

- 1) 胸部レントゲン検査、CT検査等の所見から鑑別診断をあげることができる。
- 2) 喀痰検査、血液検査、呼吸機能検査を適切に施行し病態、重症度の評価ができる。
- 3) 気管支喘息の管理、発作時の救急対応ができる。
- 4) 呼吸器感染症を診断し、エンピリックセラピーを行い感染防御ができる。
- 5) 気管支鏡検査の適応を理解し、適切、安全に実施できる。
- 6) 呼吸不全の病態診断ができ、薬物療法、HOT、NIPPV等の呼吸管理ができる。
- 7) 肺癌の診断、病期分類に応じて適切な治療を企画、実行ができる。
- 8) 高齢者、悪性疾患患者のQOLを重視した終末期医療を実践できる。

### 6. 研修責任者

呼吸器内科部長 本間和夫

### 7. 評価方法

研修責任者、呼吸器内科スタッフにより研修到達レベル、人物評価をして行なう。

### 8. プログラム終了の認定

責任者と研修医の面談の上実績を参照し認定する。

### 9. その他

呼吸器内科入院患者数：35人/日 同外来患者数：44人/日 気管支鏡件数 130件

## 2. 3年次（後期1年）

1. 良好な患者—医師関係を維持してインフォームドコンセントを実施できる。
2. 胸部レントゲン写真で異常を指摘して、必要に応じて胸部CT等の画像診断の所見を得て鑑別診断をあげることができる。ともに区域解剖に習熟する。
3. 喀痰検査、血液検査、呼吸機能検査を適切に利用し、病態、重症度の評価ができる。
4. 気管支喘息の管理、発作時救急対応ができる。
5. 呼吸器感染症を診断し、エンピリックセラピー感染防御をすることができる。

## 4年次（後期2年）

1. 気管支鏡検査の適応を理解し、適切、安全に実施できる。
2. 呼吸不全の病態診断ができ、薬物療法、HOT, NPPV等の呼吸管理ができる。
3. 肺癌の診断、病期分類に応じて適切な治療を企画、実行できる。
4. 高齢者、悪性疾患患者のQOLを重視した終末期医療を実践できる。

## 週間スケジュール

	午前	午後
月	部長総回診	病棟
火	病棟	病棟
水	病棟	病棟
木	病棟	気管支鏡検査 症例検討
金	病棟	病棟
土	研修医カンファレンス	

1. 外来2単位/週
2. 当直、時間内救急対応、時間外待機あり。
3. 全職員研修会、医師対象研修会随時あり。

## 呼吸器内科関連学会認定施設

1. 日本内科学会関連施設（\*）
2. 日本呼吸器学会関連施設（\*）
3. 日本呼吸器内視鏡認定施設

（\*）日本内科学会認定内科医取得後、日本内科学会認定内科専門医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡専門医取得可能